



みわ道

～学校・家庭・地域は「共育」のパートナー～



令和3年3月17日発行
 筑前町立三輪小学校
 所在地：筑前町新町400
 TEL：0946-22-2215
 文責：校長 東野 正美

羽ばたけ 125名の卒業生

例年でしたら、入学式で新1年生を迎え、1年生とペアを組み、運動会で・・・。

ところが、3月からの臨時休業、5月の地方別分散登校に時間短縮授業、6月からの平常授業と、子ども達はもちろん、保護者の皆様もとまどいや心配、不安の中で学校生活がスタートしたと思います。

しかし、6年生の子ども達のパワーには、目を見張るものがありました。新しい形で行ったスポーツフェスタ、真剣な学びの修学旅行、そしてその学びを下級生に伝えてくれた「平和の集い」など、6年生の力がなければ、なしえなかった行事ばかりです。

さあ、いよいよ「卒業」というスタート台に立ちます。次のステージで、さらに自分のよさを輝かせてください。

結びに、私の好きな言葉を贈ります。この言葉に出会ったのは、約20年前。いろいろなことで、「壁」にぶつかっていたときです。その時から、何かあるたびに、この言葉を口ずさんでいます。

壁は、乗り越えられる人の前にしか現われん。
 その壁 必ず越えられる。あきらめなければ。

卒業生の皆さん、おめでとうございませう。



家庭科の「共に生きる地域での生活」の学習として、6年生が草場川並木のライトアップを彩る提灯に、「コロナに負けない」「みんなでがんばろう」等のメッセージを書きました。これからも、地域との関わりを大切にしていきたいです。

「人権の花ひまわり」の学びを

- ・友達を大切にするために、あったかことばを使います。
- ・ひまわりのように、人を元気にさせる人になりたいです。
- ・ひまわりは上を向いて育つ花なので、ぼくも上を向いて過ごします。

「人権の花ひまわり」の取り組みで、3年生が学習のまとめに書いた言葉です。パネルにまとめています。今後、町の施設等で、展示をしていただく予定です。



☆「みわ道」の子☆

先般より、生徒達が作りました心のこもったプレゼントをいただきました。心よりお礼申し上げます。
 昨年よりコロナ感染症が発生し、日頃が増します忙しさの中、御心労・御苦労をお掛けしていると思っております。
 こんな心優しい生徒に育てていただいておりますこと、お礼を申し上げます。

3年生が三輪小学校代表として作ってくれたお礼のカードとシトラスリボンを「見守り隊」の方に郵送させていただいたところ、お礼のはがきが学校に届きました。子ども達へのお礼の言葉と一緒に職員へのねぎらいの言葉までいただき、本当にありがたく思っています。

地域で「子どもを見守る目」が、今後も増えていくことを願っています。



保護者の皆様、地域の皆様、いよいよ6年生が三輪小学校を巣立ちます。これまで、子ども達の成長を支えていただき、ありがとうございました。これからも、筑前町の宝である子ども達が夢に向かって歩いていけるよう、皆様のあたたかい応援をよろしくお願ひします。